平田ロータリークラブ 週報
発行日 毎週木曜日

平成18年9月14日
No.1579

率先しよう

国際ロータリー会長 ウイリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新 宮 彦 助

〈事務局〉島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ―P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@web-sanin.co.jp

会 長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹 事 荒木 貢 会 計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1579回	島根大学名誉教授 平塚貴彦様	暖かくなる地球
第1580回	19：00～	ローターアクト合同例会
第1581回	会員 石橋一彦	夢みるサラブレッド

出 席 報 告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前回補正率
49	41	7（1）	87.50	95.92

欠 席 者 園・玉木・持田・大谷・三代・平野（石倉）
来 訪 者 浅津（出雲中央）
M U 9/7平野（大川）・9/10牧野・木佐・加藤喜・飯塚大（米子）
9/11吾郷・遠藤・大島卓・黒田・高砂・大谷・石橋・田中浩（出雲中央）

幹 事 報 告

1．地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーが9/10(日)米子コンベンションセンターで開催。
当クラブより会員増強委員長 牧野昭雄・ロータリー財団委員長 木佐彰三・会長・副幹事出席致しました。
2．2006～2007年度ロータリーの友英語版注文について 年1回 11月発行 1冊（525円）
ご希望の方、事務局まで

ス マ イ ル

浅津（出雲中央） 久しぶりに訪問しました。よろしくお願いします。
森山・藤井 平塚先生をスピーカーにお迎えして。
荒木 平塚先生ようこそ。私、以前に特別講座を受けさせて頂きました。
加藤会長、木佐先生、牧野先生、飯塚大幸副幹事さん米子へご苦労様でした。欠席して申し訳ありませんでした。
恒松 浅津様ようこそいらっしゃいました。先日環境庁大臣室で小池大臣に面会し、報告しました。
加藤昇 先般は大島会員、弟の敏男様、薬師の飯塚会員の奥様、お母様には大変お世話になりました“ありがとうございます”
ケーブルテレビ松平さんの講演会に沢山おいでいただいてありがとうございます。
後日放送を致します。
高砂 森山先生、常松先生には編曲、録音と大変お世話になりました。先日CDが出来上がりました。
今後国富地区の愛唱歌として永く歌わせていただきます。一まず私が今歌います。

9月28日例会受付当番	石 橋 一 彦 ・ 大 島 卓 爾 ・ 大 谷 孝

★松江南クラブ（月） ★出雲クラブ（火） ★平田RAC（第1・3水）
★出雲中央クラブ（月） ★松江クラブ（水） ★松江東クラブ（木）
★松江しんじ湖（火） ★大社クラブ（水） ★出雲南クラブ（金）

会長挨拶

先日10日（日曜）に米子コンベンションセンターで第2690地区の会員増強・ロータリー財団合同セミナーが開催され、私と牧野増強委員長、木佐財団委員長、それに飯塚副幹事の4人が出席致しました。初めに、村江パストガバナーによる基調講演があり「ロータリーあれこれ」という演題でお話されました。要約しますと、現在の世界は波瀾万丈の時代に直面していて、ロータリーも世界の情勢や世界の文化の影響を鋭敏に受け、質的な大変な事態に遭遇している。世界を見ると覇権主義が再び台頭していて、弱者は文明の恩恵を受けることさえ出来ない弱肉強食の現実があり不安定な状態にあって、奉仕の浸透する余地があるだろうか。国家も個人もイライラが溜まって来て、イライラをどのように収めるか、これにはロータリーの知恵の出番があるかもしれない。今のロータリーは「大変な嵐の渦中」に直面しておきながら、その自覚さえないように思える。今後、立派な組織として、生き延びられるかの分岐点にあるとの、鋭い現状認識について格調高いお話をされました。

次に会員増強セミナーが開かれ、世界の会員数は'02年6月30日　クラブ数31,256、会員数約124.3万人、'06年6月30日　32,756クラブで122.3万人で、この4年間で約2万人の減、日本の会員数は'00年6月30日　2,299クラブ、120,864人、'06年6月30日　2,333クラブ、99,189人で6年間で21,675人の減少（女性は1,201人の増）ですが、ここ2～3年下げ止まり傾向にあるとの現状報告があり「あなたは誰に声をかけられましたか、率先して声をかけましょう」をテーマに増強と退会防止についてのお話がありました。

最後にロータリー財団セミナーが開かれ、地区ロータリー財団委員長の橋本　譲パストガバナーより「当地区に於ける財団プログラムと寄付の現況」の講演があり、平田ロータリークラブの昨年行ったマッチンググラントによるモンゴル国への「地球の秘密」1万冊贈呈など地区内のクラブの活動状況、ポリオプラス運動の現状などについてお話されました。

スピーチ

暖かくなる地球

島根大学名誉教授　平　塚　貴　彦　様

人間の活動は、小さくても大きな負荷を与えます。酸素を吸って二酸化炭素を排出することに加えて、特に20世紀の100年間は世界中で経済成長がめざましく、CO_2ガスやメタンガスなどの温室効果ガスが増加したため、地球の温暖化が加速しています。

過去100年間で、人口増加が3.7～3.8倍であるのに対し、CO_2ガスの増加は12倍にも上ります。これは、人間が、ものの豊かさ・生活の便利さ・快適さを追求したために、大量生産・大量消費というエネルギー消費社会になって温室効果ガスを過剰排出したことと、一方で、環境破壊が進んだ結果です。

世界の気温は過去100年で0.6℃上昇したと言われています。100年後にはさらに1.4～5.8℃の上昇が予測されていますが、この上昇値は過去1万年（100世紀）で最大です。日本では過去100年で1℃上昇しており、100年後には北日本で5℃、南日本で4℃の上昇と予測されています。

地球温暖化の影響ですが、暑い日の増加・寒い日の減少・降雪の減少・局地的な大雨の増加・大きな台風の増加・平均気温の上昇による海水面の上昇・干ばつなどの環境の変化に加えて、健康被害（熱性ストレス、感染症など）、生態系の変化（生息域の移動、動植物の絶滅など）、農業環境の変化による食糧供給の問題など数多くの影響が考えられます。

都会ではヒートアイランド現象が問題となっています。将来、都会に人間が住めるのでしょうか。北海道や標高の高い所など、居住の変化がおこるかもしれません。また、少なくとも身の回りの生活のしくみが変化する可能性が高いと考えられます。

CO_2ガス削減の試みは環境庁を中心としていろいろおこなわれていますが、依然、右肩上がりに増加している現状です。温室効果ガスの増加を抑えることは、今の世代の大きな課題です。